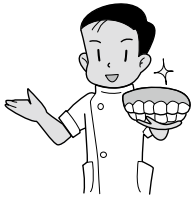




口腔ケアに関する事業は
市政改革の会 鈴木 惣太

問 口腔は、全身の健康を保つために重要な器官で、近年では歯周病と糖尿病、心臓病、脳梗塞、低体重児出産などの疾病との関係も明らかにされています。疾病を予防するために、すべての世代における口腔ケアの重要性が注目されていますが、現在、市や学校で実施している歯科に係る事業にはどのようなものがあるのか伺います。

答（市長）：口腔の健康は、口から食べる喜び、話す楽しみを保つ上で重要であり、身体的のみならず、精神的、社会的な健康にも大きく寄与するものです。平成23年8月に「歯科口腔保健の推進に関する法律」が定められ、口腔の健康には、健康で質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要な役割があることが示されました。これを受け、県では「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画」を策定し、市の役割として、日常生活における歯科疾患の予防に向けた各種施策の推進が定められています。市では、口腔の健康保持に関する事業を、乳幼児の健診や成人の個別検診、健康教育など、さまざまな機会を捉え実施しています。今後とも生涯にわたる、歯と口腔の健康づくりに対する着実な取り組みを実施していきます。



国分寺台4、5丁目のごみモデル事業の今後について
志政会 永井 浩介

問 戸別収集モデル事業は地域にとつて、独居老人世帯の見守り、ごみ減量化などにもつながりました。本事業も3年目となり、他地区からは、モデル地区だけ優遇されているという意見もあるのではないかと思います。そこで、更なる減量化について、地元と協議を重ね、昨年12月にごみ袋有償化に関するアンケートを実施しましたが、半数近くもの反対があることから、単純にアンケート結果だけで有償化することとは厳しく、地元との合意形成が進んでいない状況です。今後の国分寺台4、5丁目のモデル事業の方向性、また市内全域への事業展開はいつするのか、さらに、レジ袋削減という点から、綾瀬市、座間市の3市で足並みを揃えなければならないという課題はあるものの、先行実施すべきと考えますが市の見解を伺います。

答（市長）：戸別収集は高齢化対策としては有効であり、減量効果もありますが、地域限定に対しての反対意見もあります。苦渋の決断ではありますが、本事業は3月末をもって終了し、集積所収集に戻します。また統一袋に関しては海老名市単独での実施も検討してまいります。

その他の質問

- ・ 防災対策について
- ・ スポーツ振興について



空き地・空き家条例の制定は
志政会 宇田川 希

問 空き家などの増加は、地域の防犯上の問題、さらには悪臭、ごみの不法投棄などの衛生上の問題などさまざまな問題を生じさせます。現実に空き家などは、着実に増加してきており、全国では210以上の地方自治体で条例を制定し、この問題に対応しています。本市では、すでに条例化している自治体ほど深刻化していないと思いますが、昨年実態調査を実施し、管理不十分な空き家が274件あるなどと報告されていることから、今後、この数字が増加し、遠からず本市においても深刻な問題となるのではないかと危惧するところです。こうした中、本市でも予防的意味合いを込め、平成25年度に条例制定するとお聞きしましたが、条例案が示されておりません。今年度見送った理由をお伺いします。

答（市長）：本市においても平成25年度の条例制定、平成26年10月1日施行を目指し準備を進めていました。しかしながら、2月に入って、空き家対策に関する特別措置法案が自民党内で検討され、整えば国会に法案提出されるとの報道もあることから、国の状況を見極めるため、今定例会への条例提案を見送らせていただきました。

その他の質問

- ・ ごみ問題について
- ・ 生活保護世帯の自立に向けた支援体制の整備について



深刻な消防分団員の確保対策は
市政改革の会 飯田 英榮

問 本市に限らず全国的な問題となっている消防団員の減少と不足です。消防団員数は高齢化などを背景に戦後一貫して減少しており、最近特にその減少が著しく、本市の消防分団でも団員が減少し、相当数の団員不足が生じ、休団となっている分団もあります。

分団の定数15名という中でも15分団中6分団が定数に満たしていない状況です。消防団員の確保という点では、年々減少に歯止めがかからない状況ですが、本市の消防団員数の確保とその取り組みについて伺います。

答（市長）：少子化の進展や勤め人の増加などの社会情勢の変化により、地域において消防団員を十分に確保することが困難になってきています。従来から地域の消防防災力の充実強化策として、消防団OBによる「消防協力員制度」の設立や「消防団協力事業所表示制度」を活用した消防団員の確保などさまざまな事業を行っています。また、将来に向けた消防団員の確保策として「少年消防クラブ」を創設し、消防体験活動などを通して、消防への理解を深める事業も行っています。

その他の質問

- ・ 相鉄海老名駅北口開設の促進について